

消防現勢

消 防 の 沿 革

- 昭和 22 年 幸田町警防団を消防団に改革される。
- 昭和 29 年 豊坂村との合併により幸田町消防団改組とする。
(9分団制 233 人となる)
- 昭和 30 年 少年消防クラブを発足する。
- 昭和 33 年 消防団を 4 分団制とする。
- 昭和 38 年 消防団へ消防車 4 台、三輪ポンプ自動車 5 台を整備する。
(日本消防協会から表彰旗授与)
- 昭和 40 年 幸田町役場職員により消防団準常備部 (10 人) を発足する。
- 昭和 41 年 消防団員の定数を 183 人に改める。
- 昭和 46 年 消防団第 1 分団第 1 部の消防車を更新する。
- 昭和 47 年 消防団第 4 分団第 1 部の消防車を更新する。
- 昭和 48 年 消防団第 3 分団第 1 部の消防車を更新する。
- 昭和 49 年 消防団第 2 分団第 1 部の消防車を更新する。
- 昭和 50 年 幸田町役場職員により幸田町救急隊を発足する。(11 月 1 日)
救急車 1 台 (愛知県共済農業協同組合連合会寄贈) を配備する。
消防団第 1 分団第 2 部・第 4 分団第 2 部へ小型ポンプ積載車を配備する。
- 昭和 51 年 消防団員の定数を 169 人に改め、準常備部を解散する。(9 月 1 日)
幸田町消防本部 (庶務係、予防係、警防係) 及び消防署を設置する。
職 員 : 19 人 消防車 : 2 台 (消防団更新車両充当)
救急車 : 1 台 指令車 : 1 台 広報車 : 1 台
消防団第 2 分団第 2 部・第 3 分団第 2 部へ小型ポンプ積載車を配備する。
- 昭和 52 年 消防職員 8 人を採用する。(総員 26 人)
第 22 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 2 分団が入賞する。
幸田町危険物安全協会を設立する。(会員 54 事業所)
- 昭和 53 年 消防団員の定数を 147 人に改める。
消防車「火災保険幸田号」(幸田 3) を配備する。(日本損害保険協会寄贈)

- 昭和 54 年 消防署に第 1 係分隊長を設ける。
消防職員 1 人を採用する。(総員 26 人)
可搬積載車(幸田 61・62) 2 台を配備する。(石油貯蔵施設立地対策事業)
水槽付消防ポンプ自動車(幸田 1) を配備する。
石油貯蔵施設立地対策事業にて通産省より消防指令車(幸田 51) を配備する。
消防ラッパ隊を結成する。
- 昭和 55 年 消防職員 1 人を採用する。(総員 26 人)
資機材搬送車(幸田 5) を配備する。
救急車(救急幸田 2) を配備する。(日本損害保険協会寄贈)
- 昭和 56 年 消防職員 2 人を採用する。(総員 27 人)
消防用無線機(車載用 10W) を 1 台配備する。
携帯無線機(1W) を 3 台配備する。
石油貯蔵施設立地対策事業にて消防団第 3 分団第 2 部車庫を改築する。
Ⅱ型化学車(幸田 4) を配備する。
- 昭和 57 年 消防職員 2 人を採用する。(総員 29 人)
消防庁長官より竿頭綬を授与する。
第 27 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 4 分団が優勝する。
- 昭和 58 年 消防職員 1 人を採用する。(総員 29 人)
- 昭和 59 年 消防用無線機(固定可搬兼用型 10W) を 1 台配備する。
消防用無線機(消防団車載用 10W) を 8 台配備する。
広報車(幸田 52) を配備する。(日本消防協会寄贈)
- 昭和 60 年 消防署の第 1 係分隊長を第 1 係長に改める。
消防職員 1 人を採用する。(総員 29 人)
幼年消防クラブを発足する。
幸田町危険物安全協会を額田郡危険物安全協会に改める。
- 昭和 61 年 消防職員 1 人を採用する。(総員 30 人)
防災行政無線を設置する。(親局 2 局・子局 45 局)

- 消防署西車庫を新築する。
- 消防団第1分団第1部の消防車を更新する。
- 小型動力ポンプ付水槽車（幸田71）を配備する。
- 救急車（救急幸田1）を更新する。
- 昭和62年 消防職員定数条例を37人とする。
- 消防職員1人を採用する。（総員31人）
- 消防団第4分団第1部の消防車を更新する。
- 消防通信室を増築する。
- 第33回愛知県消防操法大会四輪の部で第1分団が入賞する。
- 消防団第2分団第1部の車庫兼詰所を新築する。
- 昭和63年 消防職員1人を採用する。（総員32人）
- 気象観測装置を配備する。
- 消防団第3分団第1部の消防車を更新する。
- 平成元年 消防職員1人を採用する。（総員33人）
- 消防団第2分団第1部の消防車を更新する。
- 消防署南車庫を新築する。
- はしご付消防自動車（幸田31）を配備する。
- 平成2年 消防職員3人を採用する。（総員36人）
- 普通消防ポンプ自動車（幸田3）を更新する。
- 消防団第1分団第2部・第4分団第2部の小型ポンプ積載車を更新する。
- 平成3年 消防職員1人を採用する。（総員37人）
- 消防団第4分団第1部の車庫兼詰所を新築する。
- 消防団第2分団第2部・第3分団第2部の小型ポンプ積載車を更新する。
- 予防査察車（幸田51）を更新する。
- 救急車（救急幸田2）を更新する。
- 平成4年 消防職員定数条例を44人とする。
- クレーン付資機材搬送車（幸田62）を配備する。
- 第37回愛知県消防操法大会四輪の部で第2分団が入賞する。

- 平成 5 年 消防職員 2 人を採用する。(総員 38 人)
水槽付消防ポンプ自動車(幸田 1)を配備する。(日本損害保険協会寄贈)
救助工作車(幸田 41)を配備する。
- 平成 6 年 消防職員 3 人を採用する。(総員 40 人)
指令車(幸田 52)を更新する。
- 平成 7 年 消防本部に消防課(庶務係、警防係、予防係)を設ける。
消防職員定数条例を 48 人とする。
消防職員 3 人を採用する。(総員 43 人)
兵庫県南部地震応援活動を行う。(1 月 1 回、3 月 2 回、3 隊 9 人)
消防団第 1 分団第 1 部の車庫兼詰所を新築する。
- 平成 8 年 消防職員 2 人を採用する。(総員 45 人)
広報車(幸田 55)を配備する。(愛知県共済生活協同組合寄贈)
資機材搬送車(幸田 61)を更新する。
消防団第 3 分団第 1 部の車庫兼詰所を新築する。
- 平成 9 年 消防職員 2 人を採用する。(総員 46 人)
第 42 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 3 分団が準優勝する。
救急車更新に伴い、高規格救急車(救急幸田 1)を配備する。
救急救命士業務を開始する。
消防団第 1 分団第 2 部の車庫兼詰所を新築する。
- 平成 10 年 消防団第 2 分団第 2 部の車庫兼詰所を新築する。
額田郡危険物安全協会を幸田町危険物安全協会に改める。
- 平成 11 年 主幹制を導入する。
消防団第 4 分団第 2 部の車庫兼詰所を新築する。
- 平成 12 年 消防本部消防課に消防防災係を設ける。
- 平成 13 年 高規格救急車(救急幸田 3)を配備する。
(高規格車 2 台、2 B 車 1 台体制)
消防団第 1 分団第 1 部の消防車を更新する。
- 平成 14 年 消防団第 3 分団第 2 部の車庫兼詰所を改築する。

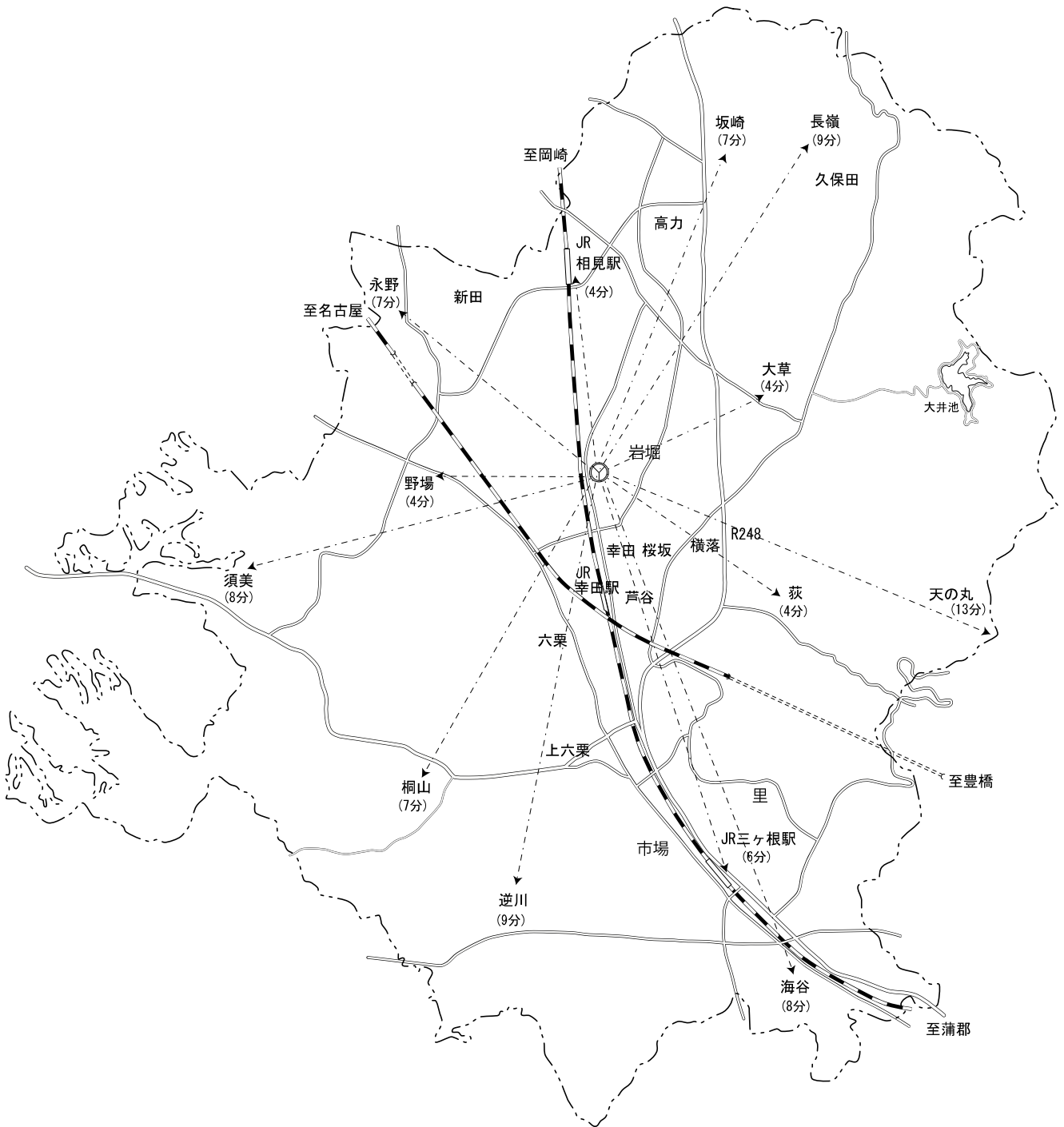
- 第 47 回愛知県消防操法大会四輪の部で第 4 分団が入賞する。
- 平成 15 年 小型動力ポンプ付水槽車（幸田 71）を更新する。
クレーン付資機材搬送車（幸田 62）を更新する。
消防団第 3 分団第 1 部・第 4 分団第 1 部の消防車を更新する。
- 平成 16 年 消防職員 2 人を採用する。（総員 46 人）
小型動力ポンプ付水槽車（幸田 4）を更新する。
消防団第 2 分団第 1 部の消防車を更新する。
- 平成 17 年 消防庁舎を移転する。（7 月 1 日竣工）
高規格救急車（救急幸田 2）を配備する。（高規格車 3 台体制）
災害対応特殊ポンプ自動車（幸田 3）を更新する。
予防査察車（幸田 51）を更新する。
消防団第 1 分団第 2 部・第 4 分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車を更新する。
- 平成 18 年 幸田町女性消防クラブを発足する。（総員 23 人）
指令車（幸田 52）を更新する。
資機材搬送車（幸田 61）を更新する。
消防団第 2 分団第 2 部・第 3 分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車を更新する。
防災遠視カメラを設置する。
防災備蓄倉庫を設置する。（深溝小学校）
- 平成 19 年 広報車（幸田 55）を更新する。
庶務連絡車（幸田 56）を配備する。
防災備蓄倉庫を設置する。（坂崎小学校）
消防署北倉庫を新築する。
第 52 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で第 1 分団が入賞する。
- 平成 20 年 消防本部消防課を庶務課・予防防災課の 2 課に改める。
消防職員 2 人を採用する。（総員 46 人）
防災備蓄倉庫を設置する。（豊坂小学校）
水槽付ポンプ自動車（幸田 1）を更新する。

- 平成 21 年 救助工作車（幸田 41）を更新する。
防災備蓄倉庫を設置する。（荻谷小学校）
- 平成 22 年 消防職員 3 人を採用する。（総員 48 人）
高規格救急車（救急幸田 1）を更新する。
資機材搬送車（幸田 63）を配備する。
防災備蓄倉庫を設置する。（幸田小学校）
- 平成 23 年 消防職員定数条例を 50 人とする。
消防職員 3 人を採用する。（総員 49 人）
防災備蓄倉庫を設置する。（中央小学校）
東北地方太平洋沖地震で緊急消防援助隊活動を行う。
（消火隊：1 隊、後方支援隊：5 隊、計：14 人）
- 平成 24 年 消防職員 4 人を採用する。（総員 50 人）
はしご車（幸田 31）を整備する。
第 57 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で第 2 分団が 3 位入賞する。
- 平成 25 年 消防職員定数条例を 60 人とする。
消防職員 4 人を採用する。（総員 53 人）
再任用職員 1 人を採用する。（総数 1 人）
防災行政無線をデジタル化に更新する。
（基地局・屋外子局 69 局、移動系無線局 50 局、戸別受信機 103 局）
高規格救急車（救急幸田 3）を更新する。
- 平成 26 年 消防職員 4 人を採用する。（総員 55 人）
再任用職員 1 人を採用する。（総数 1 人）
御嶽山噴火で緊急消防援助隊活動を行う。
（後方支援隊：1 隊、計：2 人）
防災備蓄倉庫を設置する。（幸田中学校）
- 平成 27 年 消防職員 2 人を採用する。（総員 54 人）
再任用職員 1 人を採用する。（総数 1 人）
防災備蓄倉庫を設置する。（南部中学校）
消防救急無線をデジタル化に更新する。
消防庁舎に太陽光発電設備を整備する。

- 平成 28 年 消防職員 5 人を採用する。(総員 55 人)
嘱託員 1 人を採用する。(総数 1 人)
防災備蓄倉庫を設置する。(北部中学校)
消防団第 2 分団第 1 部の車庫兼詰所を新築する。
- 平成 29 年 消防職員 4 人を採用する。(総員 56 人)
再任用 1 人を採用する。(総数 1 人)
高規格救急車(救急幸田 2)を更新する。
第 62 回愛知県消防操法大会ポンプ車の部で 7 位入賞する。
- 平成 30 年 消防職員 2 人を採用する。(総員 59 人)
再任用 1 人を採用する。(総数 2 人)
岡崎幸田消防指令センターの共同運用を開始する。
西日本豪雨で緊急消防援助隊活動を行う。
(救急隊：1 隊、計：3 人)
防災備蓄倉庫を設置する。(幸田高校)
火災調査車(幸田 51)を更新する。
- 令和 元年 消防職員 2 人を採用する。(総員 59 人)
消防ポンプ自動車(幸田 3)を更新する。
町内コンビニエンスストアに A E D (自動体外式除細動器)を設置する。
- 令和 2 年 消防職員 4 人を採用する。(総員 59 人)
本町初の女性消防吏員を採用する。
消防ポンプ自動車(幸田 4)を更新する。
消防 PR 動画を作成する。(消防団加入促進事業)
- 令和 3 年 消防職員 6 人を採用する。(総員 63 人)
連絡車(幸田 54)を配備する。
資器材搬送車(幸田 63)を更新する。
防火パトロール車(幸田 53)を更新する。(愛知県共済生活協同組合寄贈)
消防団第 3 分団第 1 部の消防車を更新する。
熱海市伊豆山土石流災害で緊急消防援助隊活動を行う。
(後方支援隊：1 隊、計：2 人)



出場から各地区到着までの平均所要時間



町の一般会計歳出予算総額に対する消防費の比率

区分 年度別	町の一般会計歳出 予算額（当初） （千円）	消防費（当初） （千円）	総予算に対する比率 （％）
平成29年度	15,380,000	821,744	5.3
平成30年度	15,520,000	601,924	3.9
令和元年度	16,460,000	622,539	3.8
令和2年度	17,660,000	710,280	4.0
令和3年度	18,020,000	687,157	3.8

人口1人当たり消防費

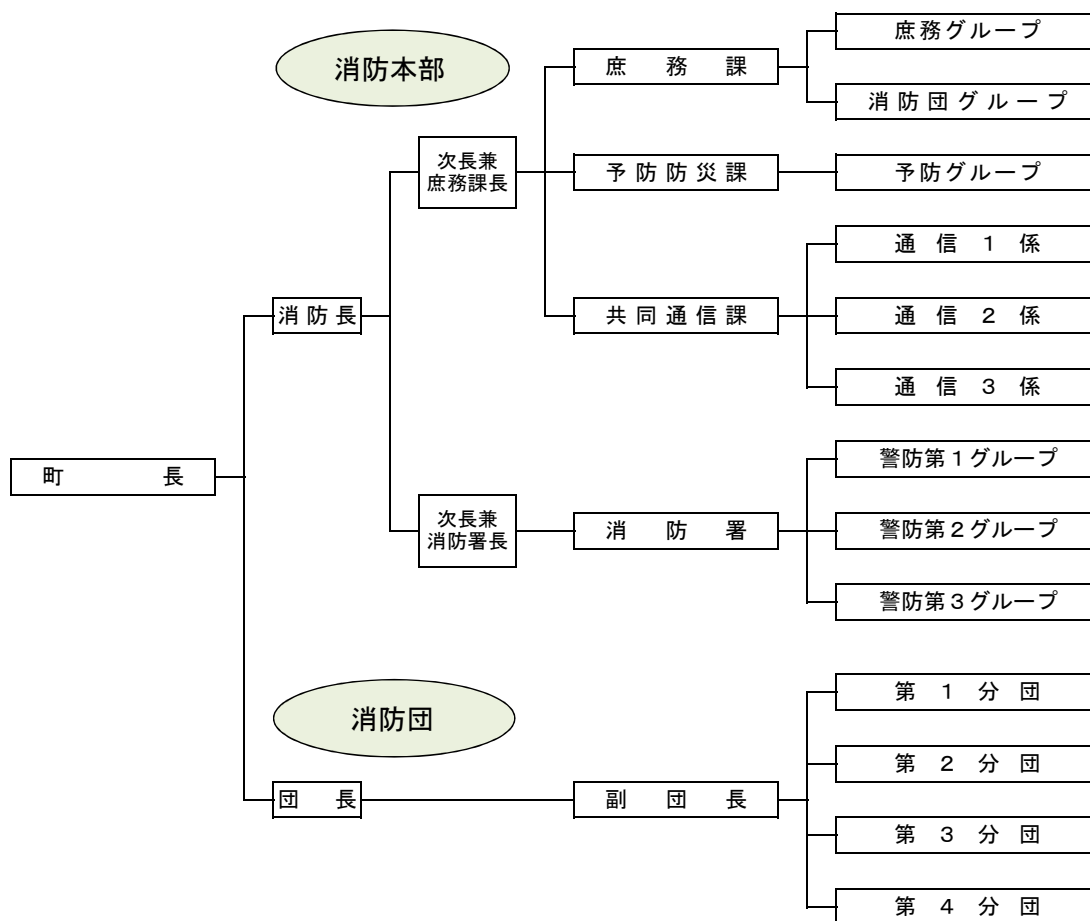
区分 年度別	消防費（当初）					人口 1人 当り額 （円）	人口 （年度当初） （人）
	総額 （千円）	常備 消防費 （千円）	非常備 消防費 （千円）	施設費 （千円）	災害 対策費 （千円）		
平成29年度	821,744	688,545	51,207	53,450	28,542	20,202	40,677
平成30年度	601,924	488,862	39,944	33,069	40,049	14,576	41,296
令和元年度	622,539	499,798	43,473	46,957	32,311	14,778	42,126
令和2年度	710,280	539,608	46,372	86,550	37,750	16,740	42,430
令和3年度	687,157	510,877	43,472	98,407	34,401	16,109	42,658

活動内容

令和3年度

4月	1日	職員辞令交付式	
	1日	新正副団長辞令交付式	
	5日	愛知県消防学校 初任科入校 2人	(4/5～9/22)
	10日	幸田町女性消防クラブ総会	
	16日	令和3年度愛知県消防長会総会	
	18日	新入団・幹部訓練	
5月	23日	消防団防災講話	
	25日	第36回危険業務従事者叙勲報告会	
6月	1日	愛知県消防学校 救急科入校 2人	(6/1～7/21)
	21日	令和3年度第1回幸田町消防署救助技術発表会	
	26日	幸田町公安系公務員ガイダンス	
	27日	消防団車両運用訓練	
	28日	水難救助訓練	(岡崎市)
	29日		
	30日		
7月	16日	緊急消防援助隊出場 後方支援隊 幸田62 (熱海市伊豆山土石流災害)	
	19日	令和3年度第2回幸田町消防署救助技術発表会	
	26日	インターンシップ (幸田高等学校)	
	27日		
	28日		
8月	3日	安全運転研修	
	23日	愛知県消防学校 予防査察科入校 1人	(8/23～9/3)
9月	2日	救急救命東京研修所入所 1人	(9/2～3/14)
	2日	救急救命九州研修所入所 2人	(9/3～3/14)
	4日	幸田町総合防災訓練	
10月	4日	愛知県消防学校 初任科入校 4人	(10/4～3/25)
	11日	令和3年度緊急消防援助隊愛知県大隊西三河ブロック後方支援資機材集積訓練	
	31日	幸田町消防団競錬会	
11月	8日	全国消防長会東海支部消防長研修会	
	8日	近隣消防合同訓練 (蒲郡・西尾・幸田)	
	14日	防火パレード	
	14日	消防団出動訓練	
	26日	愛知県防災航空隊連携訓練	
	26日	第37回危険業務従事者叙勲報告会	
12月	9日	西三河地区合同訓練	
	16日	第42回幸田町消防職員意見発表会	
1月	8日	消防関係者表彰式	
	24日	愛知県消防学校 救急科入校 2人	(1/24～3/17)
2月	4日	西三河地区消防職員意見発表会	
	5日	幸田町公安系公務員ガイダンス	
	22日	幸田町緊急消防援助隊等受援訓練	
	26日	消防ひろば	
3月	13日	幸田町消防団機械器具引継ぎ	

消防組織編成



消防職員配属状況

R4. 4. 1

職員数 (人)		階級						合計
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
区分		1	11	9	13	17	14	65
消防本部	消防長	1						1
	消防次長兼庶務課長		1					1
	庶務課		2	1	1	2		6
	予防防災課		3	1	1	1		6
	共同通信課			2		2		4
消防署	消防次長兼消防署長		1					1
	署日勤		3					3
	警防第1グループ		1	1	4	4	5	15
	警防第2グループ			2	4	4	4	14
	警防第3グループ			2	3	4	5	14

消防本部（署）階級別人員

R4. 4. 1

消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	合 計 (人)
1	11	9	13	17	14	65

消防職員勤務年数状況

R4. 4. 1

階 級 年 数	司消 令長防	司消 令防	司消 令補防	士消 長防	副消 士長防	消 防士	合 計 (人)	(人)			
								5	10	15	20
～ 1年未満						3	3				
1年以上～ 3年未満		2				10	12				
3年以上～ 5年未満					2	1	3				
5年以上～ 7年未満					9		9				
7年以上～ 9年未満				1	4		5				
9年以上～11年未満				5	2		7				
11年以上～13年未満				3			3				
13年以上～15年未満				2			2				
15年以上～17年未満							0				
17年以上～19年未満				2			2				
19年以上～21年未満							0				
21年以上～23年未満			1				1				
23年以上～25年未満							0				
25年以上～27年未満			4				4				
27年以上～29年未満		1	4				5				
29年以上～31年未満		1					1				
31年以上～33年未満		3					3				
33年以上～	1	4					5				
合 計 (人)	1	11	9	13	17	14	65	5	10	15	20

消防職員階級別年齡

R4. 4. 1

階級 職員數(人)	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計(人)	(人)			
	1	11	9	13	17	14	65				
年齡								2	4	6	8
18						1	1				
19						6	6				
20						2	2				
21						1	1				
22						1	1				
23					3	2	5				
24					3		3				
25							0				
26					2		2				
27					2	1	3				
28					4		4				
29					2		2				
30				2	1		3				
31				2			2				
32							0				
33				2			2				
34				2			2				
35				1			1				
36							0				
37				2			2				
38				1			1				
39							0				
40				1			1				
41							0				
42			1				1				
43			2				2				
44			2				2				
45			1				1				
46			1				1				
47			1				1				
48			1				1				
49							0				
50		2					2				
51		1					1				
52		1					1				
53							0				
54		2					2				
55		3					3				
56							0				
57							0				
58	1	1					2				
59		1					1				
60							0				
61							0				
62							0				
平均	58.0	53.9	44.7	34.1	26.3	20.6	34.3	2	4	6	8

消防職員教養実施状況

R4. 4. 1

職員数(人)		階 級	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計 (人)	
		教 養 区 分	1	11	9	13	17	14	65	
消防 大学 校	総合教育	幹 部 科	1	4					5	
	専科教育	警 防 科		1					1	
		予 防 科		1	1				2	
		救 助 科		1					1	
		危 険 物 科				1			1	
愛 知 県 消 防 学 校	幹 部 科	初 級			2				2	
		中 級		1	1				2	
		上 級		1					1	
	予 防 科	査 察 課 程		1	1	4	1		7	
		危 険 物 課 程			3		2		5	
		火 災 調 査 課 程			3	2	1		6	
	救 急 科	標 準 課 程			2	9	12	16	6	45
		Ⅱ 課 程 (岡 崎 市)	1	7						8
		Ⅰ 課 程	1	7						8
	警 防 科	警 防 課 程			3	2				5
		無 線 通 信 課 程			1					1
	救 助 科	救 助 課 程	1	8	6	5				20
		水 難 救 助 課 程		1	2					3
	学 校	初 任 科		1	9	9	13	17	11	60
		指 導 員 養 成 科			1					1
は し ご 自 動 車 等 運 用 科			2	3	2			7		
指 揮 隊 科				1	1			2		
そ の 他	救 急 救 命 士 (東 京)		1	3	6	5	1		16	
	救 急 救 命 士 (九 州)					1	1		2	
	気 管 挿 管 講 習 (認 定 含)			2	1	4			7	
	薬 剤 投 与 講 習 (認 定 含)		1	3	6	6	1		17	
	処 置 範 囲 拡 大 講 習			3	6	5	1		15	

消防職員資格取得状況

R4. 4. 1

種 別		階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計 (人)
		職員数(人)		1	11	9	13	17	14	65
運 転 免 許 証	大 型	型		1	8	9	13	17	2	50
	中 型	型		1	11	9	9	1		31
	準 中 型	型					2	17	3	22
	普 通	通							11	11
	大 型 特 殊	殊			1	1	2			4
	けん引	引					1			1
	大 型 自 動 二 輪				5	3	5	2	2	17
	普 通 自 動 二 輪				6	5	6	5	2	24
救 急 資 格	救 急 救 命 士			1	3	6	7	3	1	21
	薬 剤 投 与			1	3	6	6	1		17
	気 管 挿 管				2	1	4			7
	処 置 範 囲 拡 大				3	6	5	1		15
	標 準 課 程 ・ II 課 程			1	9	9	12	16	6	53
無 線	陸 上 特 殊 無 線 技 士				8	9	12	17	11	57
	ア マ チ ュ ア 無 線 技 士			1	6		1			8
危 険 物 取 扱 者	甲 種									0
	乙 種				4	2	8	6	1	21
消 防 設 備 士	甲 種				1	1		1		3
	乙 種				7	1	2	2		12
予 防 技 術 資 格 者	危 険 物				1	2	2	1		6
	防 火 査 察				2	2	6	1		11
	消 防 用 設 備 等				1	2	1			4
防 災 士				1	6	4				11
自 動 車 整 備 士 (2 級)										0
潜 水 士 免 許					5	3	5	5	0	18
船 舶 操 縦 士 免 許				1	8	4	10	7	0	30
移 動 式 ク レ ーン	免 許				1					1
	講 習 修 了 証			1	3	7	11	11	3	36
玉 掛 技 能 講 習 修 了 証				1	4	7	13	17	11	53
ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 証				1	5	1	2	1		10
酸 欠 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者					2	1	1			4
毒 劇 物 取 扱 者				1						1
衛 生 管 理 者 (第 1 種)					3	1	1			5

消防本部（署）車両

R4. 4. 1

自動車種別	呼出名称	自動車番号	メーカー	導入年月	ポンプ級別	タンク容量等
水槽付消防ポンプ自動車	幸田 1	岡崎 800 は 80	日 野	H21. 2	A-2	水 2,000 ㍓
水槽付消防ポンプ自動車	幸田 3	岡崎 800 さ 2704	い す ゞ	R1. 6	A-2	水 800 ㍓
水槽付消防ポンプ自動車	幸田 4	岡崎 800 さ 2982	い す ゞ	R3. 2	A-2	水 700 ㍓
はしご自動車 (30m)	幸田 3 1	岡崎 830 さ 845	日 野	H24. 2		30m級 先端屈折式
救助工作車	幸田 4 1	岡崎 800 は 90	日 野	H21. 9		水 120 ㍓
火災調査車	幸田 5 1	岡崎 800 さ 2613	トヨ タ	H30. 11		
指揮者	幸田 5 2	岡崎 800 さ 167	トヨ タ	H18. 12		
防火 パトロール車	幸田 5 3	三河 880 さ 3187	トヨ タ	R4. 3		
連絡車	幸田 5 4	岡崎 500 は 2628	トヨ タ	R3. 8		
防火 パトロール車	幸田 5 5	岡崎 830 せ 119	トヨ タ	H20. 2		
資機材搬送車	幸田 6 1	岡崎 800 さ 165	トヨ タ	H18. 12		
資機材搬送車 (クレーン付き)	幸田 6 2	三河 800 す 4141	日 野	H16. 11		
資機材搬送車	幸田 6 3	岡崎 480 え 7232	ダイハツ	R3. 8		
水槽車 (小型動力ポンプ付水槽車)	幸田 7 1	三河 800 は 681	日 野	H17. 3	B-2	水 7,700 ㍓ 薬液 510 ㍓
救急自動車	救急幸田 1	岡崎 830 な 119	トヨ タ	H23. 2		
救急自動車	救急幸田 2	岡崎 830 ぬ 119	トヨ タ	H30. 1		
救急自動車	救急幸田 3	岡崎 830 さ 99	トヨ タ	H26. 2		

消防水利施設

R4. 4. 1

消防水利	総数
消火栓	469
防火水槽	208
プール	10
私設水槽	60
自然水利	64
合計	811

